

## 平成 25 年度第 2 回脳卒中地域連携施設研修会報告

去る 11 月 14 日・15 日の 2 日間、平成 25 年度第 2 回脳卒中地域連携施設研修会を開催致しました。12 施設から総数 24 名の参加で、内訳は急性期：島原病院 13 名、回復期：公立新小浜病院 15 名、維持期：老健おばま 15 名でした。今回も参加者に好評で「多職種間の情報交換・連携のとり方などチーム医療の実践が具体的で勉強になりました。今後も継続してほしい。他のスタッフにも参加を勧めたい。情報を活用したい。」などの意欲的な意見が聞かれました。



本日の献立  
ビーフシチュー



急性期では口腔ケア・アイソグの体験。ケア用品の市販品との比較もしました。

「やわらか食」の試食。ビーフシチューも形があり、なめらかで美味しいと好評でした。

整形外科病棟では大腿骨頸部骨折術後の患者さんが移乗動作の見学に協力して頂きました。



入口には「ゆ」の文字がさがる浴室



回復期の公立新小浜病院では情報共有にベッドサイドの枱付ボードを活用されています。更衣・離床・排泄にチームで取り組み中。昼夜の生活にメリハリがつけます。

昼食前に食堂で揃って ST の指導の下、嚥下体操中。安全で個別に応じた食事ができるようにリハビリスタッフ、栄養士も加わり多職種で介助されています。

松永院長、馬場看護部長も参加して頂き、ランチョンミーティングでは具体的な意見交換ができました。また、温泉を利用した入浴サービスは湯ざめしにくいと好評です。



老健おばまは全室個室で一人一人に応じて、安全面に配慮した環境整備がされていました。抑制をしない方針にも努力されていました。終の棲家ではないという老健の役割を理解してもらえるように、入所時から長期を見越した説明が家族へされていました。

研修終了後、皆で記念撮影をしました。研修参加の方、受け入れていただいた施設の方お世話様になりました。2 日間実りある研修ができました。明日から研修生が各現場で課題に取り組み、成果が出ますように。